



議会だより

たまかわ

No.157

令和元年
10月24日

9月定例会

豊作に感謝をこめて

～おこめさんありがとう(小高老人クラブ)～

主な内容

みんなの秋	2
9月定例会のあらまし	3
実績・成果を問う	4
幼児教育無償化に向けシステム改修 (一般質問)	10
東西を結ぶ公共バスを他	13
議会活動、委員会活動 緊急要望書を提出	19
村民の声	20

みんなの秋



ぎんなんの摘み取り



奉納ずもう 須釜神社



本番前にリラックス 都々古別神社



ヤッター、一等賞 (たまかわクックの森「運動会」から)



ちよっぴりすっぱいさるなし



ゴールでVサイン (へ^)



まだかな… (県南中学駅伝競走大会から)



あらまし

玉川村議会9月定例会は9月6日から13日までの8日間の会期で開催されました。

今定例会では、条例改正や補正予算などの議案14件、決算の認定等7件を審議しました。

また、一般質問には6名の議員が登壇し、村執行部の考えを質しました。

決算の概要

一般会計の決算は、歳入で36億1,241万円、歳出で34億3,246万円になり、翌年度に繰り越すべき財源を除き、実質収支額は1億5,954万円の黒字となりました。

また、特別会計の決算は、歳入で17億7,000万円、歳出で16億5,345万円となりました。

特別会計についても、各会計ともに黒字となっています。

また、健全化判断比率及び資金不足比率の指標では、基準を下回ると報告されました。



監査委員による主要な施策の成果の検証

各会計の決算状況

(1万円未満切り捨て)

会計別		歳入決算額	歳出決算額	収入未済額 (滞納額)
一般会計		36億1,241万円	34億3,246万円	9,533万円
特別会計	国民健康保険	8億5,135万円	7億6,264万円	2,485万円
	介護保険	5億9,667万円	5億7,695万円	221万円
	後期高齢者医療	5,698万円	5,631万円	—
	農業集落排水	2億6,500万円	2億5,754万円	857万円
合計		53億8,243万円	50億8,592万円	1億3,096万円
前年度合計		60億3,263万円	57億2,440万円	1億4,267万円
前年対比		89.2%	88.8%	91.7%

4つの健全化判断比率でチェック

指標	内容	30年度	29年度	比較	早期健全化基準
		①	②	①-②	
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし	—	15%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	赤字なし	—	20%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	9.8%	8.7%	1.1%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	49.3%	39.8%	9.5%	350%

国で示す基準値を超えた場合は、財政的に「危険」だとみなされ改善に向けた計画を作成しなければなりません。

小林議員

問 住民監査請求5件(4件却下、1件棄却)の内容と理由は。

代表監査委員

答 却下① 村の自動販売機について

理由 具体的、客観的理

由で請求されていない。

却下② 玉川村社会福祉協議会補助金について

理由 違法、不当な公金支出ではない。

却下③ 玉川村農産物加工施設の雇用通知書について

理由 財務会計上の行為でないため。

却下④ 不納欠損処分について

理由 行政判断に対する主観的見解であるため。

棄却① 損害賠償金の支払いについて

理由 福島県土木工事標準積算基準にて算出した金額で妥当である。

石井議員

問 道の駅地域資源販売力強化事業1254万8448円はどのような事業か。またどのようなプロジェクトをしたのか。

答 道の駅販売力強化事業、生産、加工団体育成事業、6次化商品販売

産業振興課長

開拓PR事業。

小林議員

問 財政調整積立金は29年度に対し1億6300万円減っているが、適正な積立金は10%~15%くらいと思うが、これは何%か。

答 30年度決算における財政調整積立金は21.3%。29年度28.2%で、今年はずがっている。

総務課長

小林議員

問 21.3%には分母と分子があるが、分母は何か。

総務課長

答 標準財政規模(*1)といわれるもの。

(*1) 標準税収入額などに普通交付税を加算した額。

三瓶議員

問 公共交通関係の水郡

線活性化対策事業で今まで2回、トイレ設置の要望をしたがその経過は。

住民課長

答 JRで新しい駅舎に改築した。村としてもJRにトイレ設置要望している。水郡線活性化対策事業の上層である福島県鉄道活性化事業へも働き掛けていく。



トイレが必要な泉郷駅

小林議員

問 不納欠損処分、4年間で3356万2011円は、時効によるものか。

税務課長

答 不納欠損は年々減

少している。一番多く占めるのは固定資産税であり、所在不明になっている会社の所在調査、財産調査をしている。

小林議員

問 万策尽きての不納欠損か。

税務課長

答 不納欠損の要件は財産が無いとき、生活が著しく貧窮する(ひきょう)ときの要件を満たしたとき。

小林議員

問 路線バスで村内を運行する3路線を運営する福島交通に対し1603万6948円だが、村内のバス利用者数は。

住民課長

答 平均乗車密度で小野石川線1便1.4人。竜崎石川線1便1.2人。母畑石川線1便1.3人。

年度決算議 について問う!! 結果は?



平成30 審

実績・成果に 内容は・

結果とその対策は。

住民課長

答 阿武隈川、金波川、泉郷川、東川で実施。結果は環境基準値を下回っている。

大和田議員

問 食品等放射性物質簡易検査の実施で、基準値超件数12件の内容と、今後の必要性は。

住民課長

答 椎茸、しめじ等のきのこ類、たけのこ、こしあぶら、猪肉等。毎年、基準値超がある状況から、今後とも検査が必要。

小林議員

問 屋内遊び場管理事業委託料で332万7398円。村内、村外の利用者数は。

健康福祉課長

答 平成30年度利用者2万3568人。村内1768人(7.5%)、村外2万1800人。

三瓶議員

問 企画費の企業誘致関係で、学校を卒業しても働く企業がなくは村外に出てしまう。村としてももっと強く積極的に取り組んで欲しいと要望する。

産業振興課長

答 村としても積極的に取り組んでいくが、議員からも情報があったら教えて欲しい。

車田議員

問 企業誘致関係で福

島県企業立地セミナーに参加して、本村ではどのようなことが必要か。

村長

答 玉川村では3か所PRをした。200社の企業が参加し反応はなかったが、去年9月に1社と話し今日、玉川村に來たいと連絡があった。

車田議員

問 企画費の女性から見たまちづくり研究会事業で予算2万9564円。会議を7回実施。貴重な人材を集めた団体で研修などを実施しては。

村長

答 以前から開催されているが仕事を持ち、子育てしながら負担を抱えて行っている。視察研修については検討する。午後5時の音楽も、研究会の提案で「おいでよ、玉川村」に変えた。

小林議員

問 本村事故発生状況(平成30年1月～12月)は発生件数7件で前年比△12件だが、平成29年の発生件数は148件となっている。なぜか。

住民課長

答 福島県と県警で公表している件数が7件。

飯島議員

問 住民基本台帳関係で、玉川村は世帯数が増加し人口は減少している。世帯数の昨年との増減は。

住民課長

答 10世帯増加した。

飯島議員

問 外国人は合計で69人いるが、そのサークル等の対応はあるのか。その他の国2人とあるがどこか。

住民課長

答 外国人のサークル及び、その他の国は把握していない。

小林議員

問 環境衛生の河川水質検査の実施場所と検査



食品等放射性物質簡易検査



石井議員

問 道の駅販売プロデュース事業、149万6704円の内容は。

産業振興課長

答 ①出張イベント机用シートや幕のPR用の装飾品。②道の駅店舗内での総菜等の大きなポップ作成。③さるなしを入る返礼品の箱の作成。

石井議員

問 さるなし高付加価値化支援事業150万円の内容は。

産業振興課長

答 大学連携によるさるなしの実や葉の調査・分析、ウインナーの試作。加工場やトイレ整備事業にも使用している。

三瓶議員

問 労働諸費予算の就職情報の提供及び就職相談室を開設したその内容は。

産業振興課長

答 須賀川職業安定所からの求人情報を役場窓口にファイルを設置して情報公開している。

小林議員

問 中山間地域等直接支払交付金事業で、前年度は畑5937㎡あったが、30年度は田に組み入れられている。交付金は、畑で3・5円、田は8円とあるがどういうことか。

産業振興課長

答 田の総面積に畑が含まれている。畑5937㎡で単価は3・5円。総面積は昨年度と同じ。

小林議員

問 田に畑が含まれているのは間違いでは。

産業振興課長

答 誤りである。地目

は田だが、現況は施設ハウスでトマトを作っている畑である。

大和田議員

問 家畜防疫対策事業で、昨年より単価が上がった理由は。

産業振興課長

答 注射代が上がったため。

大和田議員

問 有害鳥獣対策事業で、わなの資格がないとできないため、各地区3名ほど資格を取ってやればよい。昨年度はどのような方がいたか。

産業振興課長

答 30年度はいなかったが今年2名の希望があった。テキスト代は補助する。

石井議員

問 福島県緊急雇用創

出基金事業で(株)こぶしの里に委託した750万4718円は、29年度終わりと聞いたが、これは何年まで続くのか。

産業振興課長

答 29年度の実績報告のヒアリングの際に、来年からの事業は厳しいのではないかとということだったが、30年度の予算要請が認められた。30年度の実績報告で令和元年の要請が認められた。ただし、基金事業なので基金がなくなれば終わる。

小林議員

問 国有林野貸付契約更新について、南須釜青井沢国有林貸付料6万2000円は何か。

産業振興課長

答 村道として使用や、東野の清流の遊歩道として使用している。



小林議員

問 道路維持費は昨年66・7%で執行率が悪かったが、今年度は86・4%と良くなっている。住民に対しインフラ整備は十分だったのか。路肩の土、のり面の草木等、以前にも質問したが、答弁は作業員がやるといつたが、全然実行されていない。区長から言われなくてもやるべきでは。

地域整備課長

答 直接要望はなかったが、区長と連絡を取って対応していく。

小林議員

問 住宅使用料収入額について、収入額に対し未納額2735万7563円は収入額の73%になる。規則や入居時の契約書に基づいて徴収しているか。

地域整備課長

答 督促、催促、電話連絡等行っているが、なお一層の未納額減少に努力していく。

渡邊議員

問 玉川結婚相談所の未婚男女交流会に、男子9名(村内)、女子8名(村内外)の内容及び、補助金0円とはどうしてか。

公民館長

答 須賀川市内で飲食をして交流会を実施した。補助金0円は、昨年度の繰越金30万円で対応した。

大和田議員

問 公民館事業のロビー活用事業でロビーに玉川ふるさと館があり、飛行機の展示がされていて当初は見たり触れたりしていたが、今ではあまり入る方も見かけない。大きなスペースなので、寄贈された方の理解が頂けるのであれば、別の利用を考えるべきでは。

村長

答 空港のある村として寄贈されたが、令和の時代を迎え、担当課で検討していく。



ふるさと館にある飛行機

三瓶議員

問 玉川村結婚相談所の事業は大変難しい事業ではあるが、少子化対策の基本であるため、努力されるよう強く希望する。

小針議員

問 公民館事業で文化

講演会の福田こうへいコンサートは大変好評だったが、村民の方でチケットが購入できなかつたと聞いた。今後の対応と今年の予定は。

公民館長

答 2年に1度の開催で、今年度は予定していない。チケットの問題は今後検討する。

石井議員

問 総務課で記載している1254万8448円と、産業振興課で記載している金額に差があるのはなぜか。みらいファクトリーに補助しているか。

産業振興課長

答 主要な施策の記載なので1円まで合致することはない。みらいファクトリーへの道の駅地域資源販売力強化事業での補助はない。

報告並びに意見

～滞納整理の早期対応を望む～

一般会計・特別会計

一般・特別会計の滞納金総額は1億3098万4千円で、対前年比11,712千円の減少となり、また不納欠損処分も、各税目合計6,571千円と、対前年比で2,407千円減少し、年々滞納対策へ取組の成果が感じられる。

しかし、まだまだ高水準で推移しているため、滞納したら即対応し、多額の滞納金にならないよう早期対応に心掛けること。また滞納者の実態を的確に把握して適切な滞納整理を行い、収入未済額の圧縮及び各課で情報の共有化を図り、村民の義務としての納税意識を向上させ、不公平感の発生しないよう徴収体制を更に充実させていただきたい。

平成29年度から軽自動車税・国保税・村民税・固定資産税のコンビニ納付が可能になったことで、毎年口座振替が減少・コンビニ収納が増加し、口座振替12,133件203,290千円(対前年比437件減)、コンビニ収納4,279件65,717千円(〃503件増)となっている。また収納割合は、口座振替54%・現金46%(うちコンビニ40.1%・金融機関窓口59.9%)。

未登記件数、年度末241筆。毎年過年度分が処理され減少しているが、まだまだ残っているため、未登記件数の早期解消に努めていただきたい。

今後は玉川地区の農業集落排水事業、上水道事業における水源開発、庁舎や学校給食施設建設・中学校統合等の大規模事業が控えているため、全職員が今まで以上に一丸となって財政の健全化に向けた取り組みを進めるとともに、村民福祉の向上を目指し、適切かつ効率的な事務の執行に努められるよう希望する。



淀ノ目橋の現状の聞き取り



消防団吉分団の屯所監査

監査委員決算審査

上水道事業会計

平成30年度における給水戸数は1,839戸（対前年比7戸増）となり、給水人口は5,321人（〃5人増）となった。年間配水量は614,925㎥と、対前年比1,754㎥の減となった。経常収支は、収益的収入が2億91万9千円、収益的支出が1億9451万9千円で、純利益は6400千円となった。しかし、上水道事業単独では赤字であり、一般会計からの補助金（今年度9010万2千円）により収益が出る構造になっている。資本的収支では、資本的収入が7896万円、資本的支出が1億7874万8千円で不足額9978万8千円は、当年度消費税資本的収支調整額7339千円及び過年度損益勘定留保資金9244万9千円で補填されている。

本村の水道料金は供給単価が188.60円に対し、給水原価が373.57円となっており、1立方メートル当たり184.97円の持ち出しとなっている。対前年比18.71円改善しましたが、「原水及び浄水費」のうち修繕費で5,892千円、「資産減耗費」のうち固定資産除却費7,509千円減少しているのが大きな要因である。構造上水源確保に対する投資額が大きいため、給水収益で補えないことが逆ザヤ要因であるが、できる限り業務改善と漏水対策に取り組むべきと考える。

滞納額は15,963千円と対前年比139千円増加したので、早期対応に心掛け、適切な滞納整理を行い、滞納金の圧縮に一層努力されることを強く要望する。

今後も、四辻水源活用、石川町の浄水場建設負担金、老朽配水管の布設替工事（27.6%済）も見込まれているので、滞納金の発生防止・回収、料金の見直しや更なるコスト削減等に努めていただきたい。

※紙面の都合上、一部要約しています。

教育委員の任命の同意

任期満了となる玉川村教育委員会委員の後任に円谷兼一氏（南須釜）が全会一致で同意されました。



円谷兼一氏

人権擁護委員の推薦への意見

前任委員の辞任に伴い、大木真由美氏（中）を法務大臣に候補者として推薦するため、議会の意見を求められました。審議の結果、全会一致で適任者であることを決定しました。

予算がふえたよ。



億2470万3千円とした

主な補正内容と金額 (単位：千円)

	項目	金額	項目	金額
歳入	地方交付税	13,911	財調繰入金	▲47,000
	繰越金	109,547	村債	▲5,538
歳出	総務費	89,933	農林水産費	▲6,432
	民生費	6,236	商工費	▲7,219

補正による主な事業

- ☆文化体育館修繕273万4千円
- ☆子ども・子育て支援システム改修業務委託料488万5千円
- ☆村道維持補修工事400万円
- ☆財務会計システム改修319万円
- ☆住宅修繕210万円
- ☆消防屯所建築工事27万6千円

た。起立全員で可決決定し

[審議]

議案第45号

子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正

施設等利用給付について虚偽の報告があった場合に過料を課す規定を設ける。

塩澤議員 過料の基準はあるのか。また判断は誰がするのか。

答 過料の基準はない。判断は村長。

議案第46号

令和元年度一般会計補正予算

小林議員 公立岩瀬病院分賦金及び出資金266万3千円。当初予算より多いのはなぜか。



修繕された階段



蒜生の消防屯所新築場所

答 国より交付税が一括して須賀川市に交付される。本年交付税が減額されたため、構成市町村で不足分を負担した。今後発生する可能性がある。

問 観光費6万3千円の修繕料の内容は。

答 ①乙字ヶ滝のお堂の階段を枕木で修繕するもの。②乙字ヶ滝の新駐車場に看板を設置するもの。③工業団地の和式のトイレを洋式にするもの。

問 村道維持補修工事400万円の補正増の理由と用途は。

答 現在村内12箇所道路と水路の工事が行われている。不足する恐れがあるため、補正を組んだ。

問 住宅修繕料210万円。補修の内容は。

答 村営住宅で今後退去された分のリフォーム代。

問 消防屯所建築工事27万6千円の内容は。

答 蒜生の農耕センターの敷地内用地が盛り土のため地盤の補強が必要。地盤はアスファルト

令和元年度 一般会計補正予算

8618万9千円増額し、総額41

敷・コンクリート敷のため壊して除去・処分するもの。

塩澤議員 農業次世代人材投資事業補助金225万円の用途は制限されるのか。

答 企業をやめて就農し、県の審査で認定された。補助金の用途については限定されない。

車田議員 農業振興費、備品購入費、農産物サンプル13万1千円の内容は。
答 生食がない時にPRする、さるなしの実のサンプル。

大和田議員 学校管理費、玉一小14万3千円と、須釜小9万9千円のホームページ改修業務委託料の内容は。

答 ホームページは開設済だが、バージョンアップのために委託。須釜中は開設してあるが、泉中はこれから開設する。そのための初期費用で15万4千円。

問 泉中学校管理備品111万6千円の中身は。

答 石油暖房器3台更新とシレットターの刃が劣化したため更新するもの。

問 体育館費、修繕料273万4千円の中身は。

答 アリーナのブラインド3枚が故障し、開閉が出来ない。防火シャッターの修繕。照明灯の取替え。



ブラインドが故障している文化体育館アリーナ

ないのは。
答 合計で合致しているもの。

問 村長選無投票の補正は。

答 3月に予定。
問 子ども・子育て支援システム改修業務委託料488万5千円の内容は。

答 幼児教育無償化に対応するもの。通知や児童の管理。全額国が負担。

議案第51号

消防小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ売買契約の締結

契約の相手方

和田自動車株式会社

代表取締役 和田純一

小林議員 消防小型動力ポンプ積載車2台及び小型動力ポンプ4台で2077万9200円。予算書よりも低いのは過大見積りか。

答 過大見積りではない。一括入札の結果によるもの。

塩澤議員
問 それぞれ1台ごとの金額は。
答 資料が手元にならないので後で配付したい。



消防小型動力ポンプ積載車



小型動力ポンプ

玉川村議会 ■ 9月定例会 ■

審議議案一覧 全会一致で賛成のため個別の賛否は省略しました

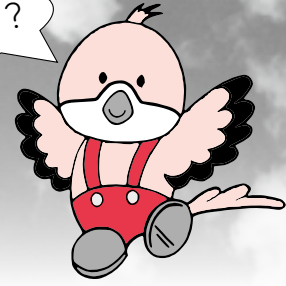
議案番号	議案名	採決	内容等
議案第39号	平成30年度玉川村上水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	収益的収入2億91万9404円、収益的支出1億9451万9217円で収支差引640万187円の純利益 この純利益に前年度繰越利益剰余金29万7350円を合わせた669万7537円の未処分利益剰余金の処分を、減債積立金に200万円、建設改良積立金に400万円、翌年度繰越剰余金を69万7537円とするもの
議案第40号	玉川村子ども・子育て支援法の一部を改正する法律附則第4条第2項の規定に基づく施設等利用費の支給の対象となる認可外保育施設の範囲の限定に関する条例	可決	認可外保育施設の無償化対象範囲を国の基準を満たす施設に限定する
議案第41号	玉川村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決	福島県に準じて道路占用料の単価を改正するもの
議案第42号	玉川村行政財産使用料条例の一部を改正する条例	可決	行政財産使用料に用いる消費税率を10%に改正する
議案第43号	玉川村農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	可決	農業集落排水処理施設使用料の改正
議案第44号	玉川村上水道給水条例の一部を改正する条例	可決	指定給水装置工事事業者更新手数料の追加及び水道料金の改正
議案第45号	玉川村子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部を改正する条例	可決	P10に掲載
議案第46号	令和元年度玉川村一般会計補正予算（第3号）	可決	P10～11に掲載
議案第47号	令和元年度玉川村介護康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	歳入歳出それぞれ2022万8千円を追加し、予算総額を6億2674万9千円とするもの
議案第48号	令和元年度玉川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	歳入歳出それぞれ66万7千円を追加し、予算総額を5774万8千円とするもの
議案第49号	令和元年度玉川村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	款項の区分間の増減のみで予算総額に増減はない
議案第50号	令和元年度玉川村上水道事業会計補正予算（第1号）	可決	収益的収入及び支出総額それぞれ67万円を追加し、予算総額を2億1201万7千円とするもの
議案第51号	消防小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ売買契約の締結	可決	P11に掲載
議案第52号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	適任者と認める	P9に掲載
議案第53号	玉川村教育委員会委員の任命の同意	同意	P9に掲載
認定第1号	平成30年度玉川村一般会計歳入歳出決算の認定	認定	P3～7に掲載
認定第2号	平成30年度玉川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	P3に掲載
認定第3号	平成30年度玉川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	P3に掲載
認定第4号	平成30年度玉川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	P3に掲載
認定第5号	平成30年度玉川村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	P3に掲載
報告第3号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告	—	P3に掲載 実質公債費比率が前年度より1.1ポイント悪化 上水道事業及び農業集落排水事業での資金不足はない

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

議会を傍聴しませんか 9月定例会の傍聴人数18人（2019年累計傍聴人数39人）
次回の定例会12月中旬を予定

村政 ここがききたい

村の答えは？



一般質問：議員が村長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて、説明、報告を求めること



くるまた みきお
車田幹夫 議員

交通に不便を
きたしているので、
今後も検討を進めてほしい。

一般質問

問 玉川村地域公共交通活性化協議会（*1）では話し合いはできたのか。

答 玉川村地域公共交通網形成計画（*2）を策定。東西を結ぶ公共交通がない空白地帯を認識した。

問 公共交通路線バス運行にかかる経費は。

Q東西を結ぶ公共交通路線バスの運行について
A新たな路線バスの開設は難しい



公共交通がない矢吹小野線（南須釜字北ノ宿付近）

答 バス事業者が運行し収支を算出する。村として算出は困難。

問 高齢者等の運転免許返納の増加が予想される今後の対応は。

答 地域住民の乗り合わせによる移動やタクシーを利用した際の助成制度の検討など、高齢者との話し合いや福祉部門、事業者と協議し検討する。

（*1）玉川村地域公共交通活性化協議会：交通事業者、警察関係者などからなる。平成30年度より開催。

（*2）玉川村地域公共交通網形成計画：将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを構築するための基本計画となるもの。



こばりたけちよ
小針竹千代 議員

Q村長4期目の 施策は A積極的な事業展開

問 今年4月の村長選挙に当選し、石森村政の4期目がスタートした。4期目の施策は何か。
答 6月定例議会です所信を述べたが、新たな使命感と責任感を持って村政の運営並びに経営に当たる。

Q小学校通学路の 安全対策は A対策を講じる

問 玉川村ふれあいセンターから鈴木建設事務所間の通学路は、アカシア等の木が通学路を完全に覆っている。倒木及び、冬期間は雪の落下の危険が高い。村の対応は。
答 私有地が多く、立木については個人に所有と管理責任があるが、子供達の通学路であり、所



伐採が待たれる通学路

Q2、3年生 制服の無償提供は Aやらない

有者と協議しながら年度内を目標に、支障となる部分の伐採等の安全対策を講じる。

問 玉川中学校が来年4月に統合開校するが、制服を統一するために2、3年生の制服の無償提供はできないか。
答 現在着用している各校の制服を着用し、無償提供は考えていない。
問 2、3年生の運動着の無償提供の理由は。
答 過去に川辺小学校が統合した時に無償提供をした経過があるため。

一般質問



新しい制服(玉川中学校)

問 対外的にあるからではないのか。
答 それもある。
問 制服も同じでないのか。
答 制服は中学校入学時購入し、高価で3年間見通し購入しており、誇りを持って着用している。他の統合の事例を見ても対外的には問題ない。

問 父兄に無償提供ならどうかアンケート調査をする考えはないか。
答 考えていない。
問 通学バスの委託業者は決定したか。また、年間の委託金額はいくらか。
答 現時点で委託業者は決定していない。10月には決定できるように作業を進めている。
問 平田村の中学校の送迎には、7千万位の経費がかかっていると聞いたが、決定前に議会に説明してくれるか。
答 3月議会の中で説明できる。
問 東部地区からの玉川中学校へのアクセス道路となる中16号線の測量の予算が決定したと聞いたが、今後の進め方はどうなるのか。
答 予算の配分を受けて測量調査に着手する。
問 予算の金額と、この金額で測量は全部できるのか。
答 予算金額は2400万円で全部できる。
問 統合で決まったことは。
答 校歌の詞が決まった。



こばやし のりきよ
小林徳清 議員

問 竜崎原作田地内、国道118号線からの法定外道路の整備を再要望している。道路勾配、排水処理等の問題もあり、区対応は難しい。村主導の業者による施工を強く望む。

答 地元行政区と協議し

Q生活道路の現道舗装について A生コン支給による取組みを検討願う



住民生活に必要不可欠な生活道路

問 地区懇談会において、2件の道路舗装要望に対し、距離が短いので補助が付かないと回答されたが、距離に制限はあるのか。

答 距離ではなく村道の認定と費用対効果が得

て生コン支給の現道舗装の取組みを検討願う。
問 3月の施政方針で、生活道路の安全と利便性向上に取り組むと言われているが、あの道路は住民生活に必要不可欠な生活道路と認識しているか。
答 生活道路と把握している。

られるかどうか。
問 他町の例を挙げれば、法定外道路が町発注の業者による現道舗装がされた。そのような例にならう考えは無いか。
答 村でも調査研究したい。
問 昨年まで請願件数は40件。うち道路は26件である。年に2件、村単で実施の考えは。
答 年に1つは道路整備を行いたい。

Q定住促進補助金について A補助金継続も含めしっかりと検討する

問 移住定住、人口減少対策の一環の施策が功を奏し、緩やかな減少となっている。交付金要綱の施行期間は、令和2年3月31日まで。第6次振興計画目標人口7千人に及んでいない現状から、期間延長継続をすべき。
答 平成30年度末の4年間に、補助金交付者数は84件、交付額5210万円。その中で23件、84名が村外から転入し、効果があつたと考える。人口減少対策は様々な問題と密接に関連しており、重要課題である。定住を望む若者からの反響は大きく、実施の効果は高いと認識している。令和2年度に向け、人口減少対策にしっかりと検討する。
問 継続と理解して良いか。
答 その考えで進めて行く。

問 加算要件として、通勤が遠方の場合の補助金増額の考えは。
答 施策の展開など調査研究をしていく。
問 中古物件購入で定住にした場合の補助金交付の考えは。
答 要望もあるため検討したい。



魅力のある村内定住

問 千五沢ダムの藻の大量発生は、水の対流が悪く水質悪化によるものと思われるが、ダムを管理する福島県との協議は行ったか。

Q千五沢ダムの藻の除去対策は
A安全な水の供給に努める



いいじまさぶろう
飯島三郎 議員

答 取水から浄水まで石川町で対応しているが、水質基準に適合していることを確認している。石川町で過去に町議会で水質調査の検討をしたと聞いたが、福島県との協議の説明は受けていない。村としても、今後もし引き続き安全な水の供給に努める。



藻におおわれた湖面

問 泉中学校裏からこぶしの里付近に通じる道路の拡張工事について、幅と延長はどのくらいか。
答 車道2車線、片側歩道の幅員約10mの道路。延長は測量調査後に

Q中-16号線はどのような道路となるか
A車道2車線、片側歩道の幅員約10mの道路

問 道路建設によって沿線にはどのような波及効果が期待されるか。
答 空港西線を結ぶ計画。村外へのアクセスも容易な環境であるため、定住につながる住宅建設などが期待される。



泉中学校裏の道路拡張（起点）



空港西線と結ぶ計画がある（終点：こぶしの里付近）

問 工事の着工と完了時期はいつか。
答 本事業は社会資本整備総合交付金事業により行い、今年度に測量調査を実施する。早期に完成できるように関係機関に積極的に働きかけていく。

一般質問



しおざわしげお
塩澤重男 議員

Q農業振興の推進は 耕作放棄地解消は A増加している

農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄地が目立つ。これは、景観の悪化とともに害鳥、害獣の温床になっている。
最近数名の若い人が就農し、将来の農業に力強さを感じている。

問 平成30年度までの5年間、耕作放棄地面積



花一面のソバ畑

問 認定農業者の育成と支援事業は何か。
答 施設園芸参入支援事業。ビニールハウス更新事業。玉川村認定農業者協議会支援事業。
問 定年後に規模拡大し、受託農家になる例が

の推移は。
答 合計291.7ha、5年間で95.9haの増加。
本年度村耕作放棄地対策協議会が解散になる。
問 耕作放棄地解消にソバの栽培を推奨したが、面積は伸びているか。
答 現在作付けされていない地域もある。

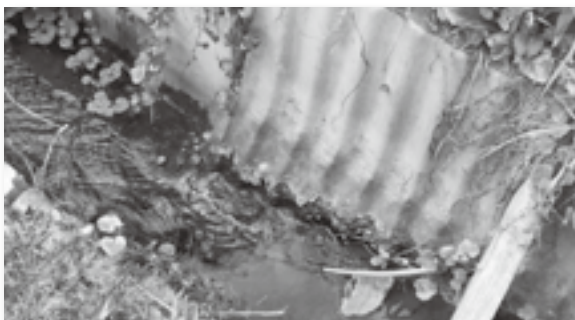
多い。助成措置は。
答 補助メニューはない。個別に相談を受けた場合は対応。
問 退職者を担い手として育成する施策はないか。
答 今後退職者も含め、地域の受託農家・担い手の確保・育成につながる施策を検討していく。
問 農地利用集積計画の周知徹底と、10a当りの助成単価の引き上げは。
答 本年度増加している。補正予算で増額要求。制度については広報で周知する。担い手農家には直接連絡したい。助成単価は現在の単価で対応する。
問 5年間で5千円。10年間で1万円。年間では10a当り千円では魅力がないのではないか。
答 近隣町村等の情報も収集して検討したい。
問 中山間地域等直接

Q排水路の改修は A多面的機能支払 交付金事業で実施



交付金事業の草刈り

支払交付金事業は本年度最終年度。次年度も継続されるのか。また、大きく変わる点は。
答 継続される。今後、県の説明会が開催される。変更の内容は現在不明。



底のない水路

南須釜荻ノ田地区の生活雑排水路。鋼製の排水路が劣化し腐食により底辺がない状態。
未改修箇所の手手が崩れ水田に流入する恐れがある。住民より改修の要望がある。要望書は区長を通して提出してある。
問 改修の計画について問う。
答 多面的機能支払い交付金事業により改修工事を実施する。



おおわだ ひろし 議員
大和田 宏

Q林道の管理対応について
A通行に支障がないようにする

問 管理者は誰か。管理義務は何か。
答 管理者は村長。管理義務は、林道として車両等が常時支障なく通行できるようにすることや、円滑な交通の確保。定期的に林道を巡回し、危険個所の発見や復旧に努めること。

問 4か所の林道の現状はどうか。
答 車両が通行できる所と、草木が生い茂り通行が困難な所がある。

問 今後の管理対応は。
答 地元行政区にご協力をお願いしながら、村道等と併せて管理していきたい。

問 今後の管理対応は。
答 地元行政区にご協力をお願いしながら、村道等と併せて管理していきたい。

Q会場を1カ所にする理由は
A受診者数の減少のため

問 住民健診の目的は何か。

答 疾病を早期に発見し、早期治療につなげること。

問 健診の受診率等はどうか。
答 受診率はここ数年横ばいで推移。県平均と比較すると高い受診率である。

問 現状の課題は何か。
答 受診率の更なる向上である。

問 会場を1カ所にする経過は。
答 健診バスの大型化やスタッフの確保等、健診業務の効率化の一環。



やまい病は早期に発見しよう

石川管内でも集中型健診となっており、令和2年度から集中型健診へ転換したい。

問 受診者の送迎は行いつのか。
答 たまか文化体育館への送迎を考えている。今後、受診方法などの説明を行う。

問 今後の方針について
A総合的な学力を身につける

問 全国学力テストの目的は何か。
答 ①教育施策の成果や課題の検証とその改善を図る②教育指導の充実や学習状況の改善③教育

に関する継続的な検証改善サイクルの確立。

問 各学年、教科ごとの結果はどうだったのか。
答 小学校6年生は国語と数学で、県平均より下回った。中学3年生の国語は県平均を上回り、数学と英語は県平均水準である。

問 それぞれの課題は何か。
答 基礎的な知識を活用する力、情報を読み取る力、記述式問題の対応が課題である。

問 今後どのような方針で進めるのか。
答 ①教職員の授業力の向上②学習指導員の配置③「授業スタンダード」を活用した授業改善④児童生徒が自己マネジメント力を身につける取り組み⑤子供たちの頑張りや変化を受け止め、「自己肯定感」が得られるよう努める。

問 今後どのような方針で進めるのか。
答 ①教職員の授業力の向上②学習指導員の配置③「授業スタンダード」を活用した授業改善④児童生徒が自己マネジメント力を身につける取り組み⑤子供たちの頑張りや変化を受け止め、「自己肯定感」が得られるよう努める。

台風19号： 大規模災害の発生

議会活動

10/13調査



議員による被害状況調査(能登地内)

台風19号は東日本各地に甚大な被害をもたらしました。

当村議会では被害調査を実施し、村内の被害状況を確認しました。

また、村に対して災害の早期復旧を求める緊急要望書を10月17日に提出しました。

被災者に寄り添った対応が望まれます。

委員会活動



大型映像機器を備えている会議室



福島県警察本部の組織の説明

た。てきまし
て研修し
動につい
県警の活
活用した
システムを
通安全シ
止策、交
る被害防
罪に対す

各地で豪雨や台風など自然災害による被害が多発しており、自治体の災害に対する対応がクローズアップされています。また、日々の生活が安全に送れるよう、防犯や交通事故への関心も高まっています。
そこで今回は福島県の災害対策の中心である福島県危機管理センターで、災害に対する日々の備えや東日本大震災からの教訓を、福島県警察本部では通信指令室及び交通管制センターで犯

台風15号の被害を 教訓にして

総務産業建設・文教厚生常任委員会合同研修会 9/19

お詫びと訂正

前号No. 156号に掲載のP3繰越明許の記事中「干ばつ」は正しくは「間伐」、P5本文3段目、定住促進事業補助金「1600万円」は正しくは「160万円」でした。お詫びして訂正いたします。



村民の声

Vol.12

こてら たかよし
古寺 貴栄さん
玉川村商工会
副会長 (中)



●議会に対して

村民の代表である議員の皆さんが集まる議会では、これから地域のために、玉川村の発展のために、より村民に寄り添った議会運営をお願いいたします。

●村に対して

村行政として、これからの高齢化、少子化など村の基本的なものが問題になっていくと思います。老後の希望の持てる生活環境、子育てのしやすい環境を作り続けて人口が増加していくような村づくりをお願いしたいと思います。

のぎき かずゆき
野崎 一幸さん
玉川村商工会
副会長 (川辺)



●議会だよりについて

質問等を読んでいると、現在村の問題点等がわかり勉強になります。

また、議員が調査していることや、村民の声を聞いていることが伝わります。

●議会に対して

ひと昔前の議員は行政区の代表代理人の位置にあったが、現在は立つ位置が違います。

その意味では、村全体を見渡して活動できると思います。より一層の活躍を願います。

●村に対して

どこの町村も同じ悩みをかかえていると思いますが、玉川村はほかの町村より恵まれていると思います。その恵まれているところをアピールして、村を発展させていただきたいと思っています。

あとがき

今年も猛暑続きの夏も終わり、稲刈りの時期を迎え、今年もまずまずの豊作が見込まれていた矢先、台風19号が東日本を縦断し、本村にも甚大な被害を及ぼしました。

被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。1日でも早く日常の生活に戻れることを祈願いたします。

今後、災害復旧に私ども議員も、今何が必要かを考え、村と一体となり全力で取り組んで参ります。
(飯島二郎)



コスモスが咲く里山